

(1)「新たな時代の人づくり推進方針」に沿った取組の推進

- ①乳幼児期において自己肯定感や非認知能力等を育むため、保育者の専門性向上のための研修の実施や幼児教育・保育施設への訪問支援等により幼児教育・保育の質の向上を図るとともに、保育者が、子ども主体の保育業務に注力できる体制の整備及び多様性に配慮した遊具等の整備を促進するなど、生涯にわたる人格形成の基礎を培う幼児教育・保育を充実

拡 私立幼稚園預かりサポート推進事業 <学事文書課> 497,406 千円

【事業内容】

「子どもを生み育てることへの不安や負担感」を解消するとともに、多様化する教育的ニーズに弾力的に対応するため、教員と別に医療的ケアを行う看護職員等の配置や特別な支援を要する幼児の受け入れ、預かり保育を行う私立幼稚園に対する支援を実施

【取組の現状】

私立幼稚園に障害のある幼児の在園状況を把握し支援を実施

拡 こどもまんなか保育体制強化事業 <こども政策課> 550,874 千円

【事業内容】

保育士が本来の子ども主体の保育業務に注力し、保護者が安心して利用できるように、保育士の勤務環境の改善を図るため、保育士の独自加配及び保育補助者等の配置、マネジメントへの支援を実施

- 保育士独自加配支援
- 健康支援体制強化支援
- 医療的ケア児受入体制整備支援
- 子育てサポーターの配置支援
- ICT活用の推進など業務改善に向けたセミナーの実施

【取組の現状】

保育士の加配や保育補助者・支援者の配置による人員体制の強化を図るとともに、ICTの活用等による業務改善を推進（今後、交付申請を受付予定）

誰もが育ち・学び・遊べる幼児教育環境づくり推進事業 <学事文書課>
20,989 千円

【事業内容】

障害の有無に関わらず、誰もが等しく育ち・学び・遊べる幼児教育環境を整備するため、多様性に配慮した環境整備等を行う私立幼稚園等に対する支援を実施

- 多様性に配慮した遊具等の導入支援 等

【取組の現状】

私立幼稚園等が実施する多様性に配慮した遊具等の整備及び改修に要する経費を支援

誰もが育ち・学び・遊べる保育環境づくり推進事業 <こども政策課>

48,706 千円

【事業内容】

障害の有無に関わらず、誰もが等しく育ち・学び・遊べる保育環境を整備するため、多様性に配慮した環境整備等を行う私立保育所等に対する支援を実施

○多様性に配慮した遊具等の導入支援 等

【取組の現状】

私立保育所等が実施する多様性に配慮した遊具等の整備及び改修に要する経費を支援

私立幼稚園地域子育て支援事業 <学事文書課>

9,848 千円

【事業内容】

幼児教育のセンターとしての役割を積極的に果たすため、私立幼稚園が実施する各種取組に対して助成することにより、地域における子育て支援を推進

○幼児教育相談の実施

○幼児教育講演会

○未就園児の親子登園

○小学校との連携に資する事業

○「ふるさと山口」教育推進事業

○家庭・地域における幼児教育の促進に資する事業

【取組の現状】

私立幼稚園に事業計画の提出を募り、教育の質の向上に向けた取組や地域における子育て支援の推進に関する取組の支援を実施

私学教職員研修補助金 <学事文書課>

929 千円

【事業内容】

私立幼稚園の教職員の資質向上を図るため、公益財団法人山口県私立幼稚園協会が実施する教職員研修事業への助成を実施

【取組の現状】

10回の研修を実施予定

(令和6年度実績：3回の研修を実施、654名が受講)

新たな学びの場創出事業 <政策企画課>

21,720 千円

【事業内容】

学校、地域、企業、団体など多様な主体と連携・協働し、最先端の知見や地域・民間の活力を活用しながら、新たな学びの場を創出する取組を推進

○子どもの創造力等育成事業

・モノづくりを中心としたワークショップを一堂に集めたイベントの開催

・ワークショップの質の向上に向けた研修会の開催

・モノづくり体験活動の情報集約及び発信

【取組の現状】

- 「ワークショップコレクション in やまぐち 2025」
 - ・11月8日（土）～9日（日）の2日間、YMfg 維新セミナーパークで開催予定
 - ・5月23日（金）～6月30日（月）の期間、出展者募集を実施（約50コンテンツが応募）
 - ・幼児・児童および保護者を対象（R6年度実績：2日間で延べ6,000人）
- 「子ども向けワークショップファシリテーター研修会」
 - ・10月18日（土）にワークショップコレクション出展者、幼児教育・保育者関係者、教育関係者等を対象に開催予定
- 「こどものためのあそび×まなびカタログサイト@やまぐち」を運用中
 - ・県内企業や団体、個人等が行っている子ども向けのクリエイティブ体験活動の情報をとりまとめて情報発信中（登録数：33ワークショップ）

やまぐち未来アカデミア事業

（セミナーパーク指定管理事業） <政策企画課>

12,100 千円

【事業内容】

○やまぐちキッズ・スクール

幼児・児童を対象に生命や自然を大切にする心や好奇心、探究心や創造力を高めるための体験プログラム等を実施

【取組の現状】

5月17日（土）、7月5日（土）、8月30日（土）にYMfg 維新セミナーパークにて実施（第1回及び第2回で延べ49名が参加）

地域子ども・子育て支援事業 <こども政策課>

714,484 千円

※人づくり関連事業費のみ計上

【事業内容】

子育て家庭のニーズに応じた、地域の子育て支援を推進するため、市町が地域のニーズを踏まえて作成した「子ども・子育て支援事業計画」に基づき実施する子育て支援のための事業等に対する支援

○延長保育事業（早朝、夕方の保育）

○多様な事業者の参入促進・能力開発事業（良質かつ適切な教育・保育等の提供体制を確保するため、認定こども園における特別支援教育・保育等への支援）

○一時預かり事業（保育所、幼稚園）

○利用者支援事業（保護者等への相談支援等）

○地域子育て支援拠点事業（保育所等での子育て中の親子交流等）

○乳児家庭全戸訪問事業（生後4ヶ月までの乳児のいる全家庭への訪問・相談支援等）

○養育支援訪問事業（養育支援が特に必要な家庭への訪問・相談支援等）

○子育て援助活動支援事業（地域における育児の相互援助活動）

【取組の現状】

市町が実施する延長保育事業等に要する経費を支援（今後、交付申請を受付予定）

【事業内容】

保育士等のキャリアパスを見据えた体系的な研修等の実施により安定的な保育人材の育成・確保を推進

- 保育所職員研修
- 子育て支援員研修
- 認可外保育施設職員等研修

【取組の現状】

7分野（食育・アレルギー対応、保健衛生・安全対策、保護者支援・子育て支援、障害児保育、マネジメント、幼児教育、乳児保育）に係るキャリアアップ研修を開催予定

- 集合研修：6～11月 各分野2回実施 定員150名/回（マネジメントは100名/回）
- eラーニング：各分野定員150名

乳幼児の育ちと学び支援事業 <義務教育課>

26,985 千円

【事業内容】

「山口県乳幼児の育ちと学び支援センター」を拠点として、幼児教育・保育施設に対し、国公立や施設類型の区別なく研修等の機会や情報を提供して、幼児教育・保育の質を向上

- 保育士・幼稚園教諭・保育教諭に対する研修
- 市町や幼児教育・保育施設に対する助言
- 乳幼児期の教育及び保育に関する情報提供・啓発
- 保幼小連携の推進

【取組の現状】

- 乳児保育研修（全2回：5月22日、8月26日）
- 特別な配慮を必要とする子どもの保育研修会（全3回：5月9日、7月4日、9月9日）
- リーダー研修（6月10日、1月13日）
- 山口県幼児教育・保育研究協議会（8月18日）
- ワークショップ型研修（10月19日）
- オンデマンド型保育者セミナー（8講座：オンライン 9月～10月）
- 幼稚園・特別支援学校（幼稚部）新規採用教員研修（1期～7期）
- 幼稚園新規採用教員研修に係る地区別研修会（8地区）
- 幼稚園・特別支援学校（幼稚部）中堅教諭等資質向上研修（1期～5期）
- 乳幼児の育ちと学び推進協議会（全2回：6月3日、11月13日）
- 専門分野に係る幼児教育アドバイザーの配置（16分野 20名）
- 次期幼児教育アドバイザーの育成を含めた「幼児教育プレアドバイザー」の配置（2名）

【事業内容】

幼稚園教諭の資質能力の向上及び幼児教育の質の向上を図るため、幼稚園教諭免許状認定に係る講習を開催

【取組の現状】

幼稚園教諭二種免許状所有者が、一種免許状を取得するための幼稚園教諭免許法認定講習を開催し、希望聴講を含め延べ39名が受講予定

乳幼児期からの読書活動応援事業 <地域連携教育推進課>

2,795 千円

【事業内容】

県内の幼稚園・保育所等の読書環境整備や読み聞かせへの意識醸成を通じて、乳幼児期からの読書習慣を形成し、子どもたちの不読率を低減

- 幼稚園等を対象とした「絵本の配達便」の実施
- 読み聞かせ活性化のための研修会・セミナーの開催
- 寄贈絵本を活用した読書環境の整備

【取組の現状】

- 「絵本の配達便」の実施
 - ・延べ98の幼稚園・保育所等に読み聞かせに適した絵本セットを貸し出し、7月から順次配達
- 「乳幼児期における読書習慣の定着に向けた研修会」を開催
 - ・県内3会場で開催し、延べ56名の幼稚園教諭、保育士等が参加
- 親子で楽しめる絵本を使ったセミナーを開催
- 県民に対し、幼稚園・保育所等へ寄贈する絵本を広く募集し、マッチングを実施

【課題及び今後の対応】

- 園内研修の充実及び幼児教育・保育施設の課題等に向けた助言や要請に応じた訪問を行うことで、更なる支援体制の強化をめざす必要がある。
- 保育士の加配等による人員体制の強化を図るとともに、乳幼児の育ちと学び支援センターと山口県立大学の子ども家庭ソーシャルワーク教育研究所の連携等により保育人材に対する研修の充実に取り組み、保育の質の更なる向上を図る必要がある。
- 各私立幼稚園、保育所において特色ある幼児教育を実施していけるよう、支援を行っていく必要がある。
- 幼児の非認知能力や自己肯定感の向上に資するように、ワークショップや体験プログラムの内容充実及び提供者のファシリテーション能力の向上が必要であるため、新たな時代の人づくりアドバイザーを活用し、更なる質の向上等を図るとともに、民間団体等の自主的・主体的な取組を推進する必要がある。
- めざす資質・能力や研修のねらい、研修対象や内容等を明記し研修を見える化したこと及び実施方法の工夫が、研修機会の拡大及び保育者の更なる資質向上につながっている。講師の選定及び内容や振り返りの充実等、「学びの実感を伴う研修」の実施に取り組み、現場のニーズや今日的課題に対応した研修の一層の充実を図っていく必要がある。

- ②若者がふるさと山口への理解と愛着を深めることができるよう、地域資源や地域活性化等に取り組む人材を活かしたプログラムを充実するとともに、人づくり推進ネットワークを活用した協働活動や民間団体等による自主的・主体的な取組を促進

新 やまぐち若者サードプレイス創出事業 <中山間・地域振興課>

4,000 千円

【事業内容】

若者を中心とする人材の県外流出が続く中、若者の県内定着やふるさと回帰を推進するため、地域での居場所や活躍できる場となる「サードプレイス」のモデルを創出（令和7年度モデル事業実施市町：周南市）

- 職場の垣根を超えた同世代で支え合える関係を構築し、市内定着を促進するため、若手社会人を対象としたイベントを開催
- 学内・学外に、地域に親しむ仲間をつくり、定着・UJターンを促進するため、大学生等を対象としたイベントを開催
- 上記イベント参加者を対象とした、地域行事への参加や地域活動への斡旋

【取組の現状】

- 若手社会人を対象としたイベント
 - ・実施時期：令和7年8月25日（月）、10月27日（月）、12月18日（木）（全3回）
 - ・実施場所：周南市内
 - ・対象者：周南市内事業所に就職した若手社会人 20人程度

○学生等を対象としたイベント

- ・実施時期：令和7年9月25日（木）
- ・実施場所：周南市内
- ・対象者：周南市ゆかりの大学生等 20人程度

○上記イベント参加者を対象とした、地域行事への参加や地域活動への斡旋

- ・実施場所：周南市内
- ・対象者：上記イベント参加者
- ※実施時期については調整中

新 若者と県内企業のつながり創出事業 <労働政策課>

75,566 千円

【事業内容】

大学進学前後の児童・生徒及び学生への県内企業の情報発信体制の強化や県内就職に向けた若者・企業への支援制度の創設により、ふるさと山口への愛着とともに、若者と県内企業とのつながりを創出

【取組の現状】

- 福岡県及び広島県にキャリアコンサルタントを配置し、大学との連携を強化
 - ・大学訪問による情報発信
 - ・出張相談会、学内での交流会の実施
 - ・協定校就職支援担当者と県内企業採用担当者による意見交換会を開催
 - ・保護者を対象とした県内企業講演会や就職ガイダンスを開催（12月21日予定）

○県外の大学生等を対象に就職活動に係る交通費を補助

- ・地域ごとの定額（最大6万円）以内で交通費実費を支給

○小学生向けお仕事体験型イベント「こどもシゴト博」の開催

- ・8月30日（土）開催（@維新大晃アリーナレクチャールーム）

○ジョブトラやまぐち（中学生向けお仕事体験トラベル）の実施

- ・岩国エリア（8月4日）、山口エリア（8月6日）、下関エリア（8月8日）の3地区で実施（参加者94名）

○高校生向け県内企業との協働による企業課題の解決に向けた探求プログラムの実施

- ・普通科高校5校で実施（熊毛北高校、高森高校、山口中央高校、美祢青嶺高校、下関中等教育学校）

○県内企業を対象に採用戦略見直しセミナーを実施

- ・第1回を8月25日（月）にKDDI 維新ホール会議室で実施
- ・9月から1月にかけて8回実施予定

○採用活動効率化支援補助金の支給

採用選考や採用広報等の採用活動の効率化に資する経費を補助

補助率 1/2、補助上限10万円/社

私立幼稚園地域子育て支援事業 <学事文書課>

（再掲）

再掲2頁

新たな学びの場創出事業 <政策企画課>

（再掲）

【事業内容】

○遊びで培う創造力育成事業

- ・地域資源を活用した遊びを考えるワークショップの実施
- ・子どもたちが考えた新たな遊びの情報発信

○明日にきらめけ！維新アカデミー事業

- ・県内の専門分野で活躍している講師と対話を通じたワークショップを実施

【取組の現状】

○遊びで培う創造力育成事業「きらら☆ラボ」

- ・日 程：令和7年10月4日（土）、10月5日（日）、12月13日（土）
- ・場 所：山口きらら博記念公園
- ・対象者：県内の小学1年生～中学生 20名程度

○明日にきらめけ！維新アカデミー事業

- ・日 程：令和7年6月29日（日）、7月21日（月・祝）、8月17日（日）、10月19日（日）、12月14日（日）
- ・場 所：YMfg 維新セミナーパーク
- ・対象者：県内の小学3年生～中学生 20名程度
（第1回～第3回に県内の小・中学生延べ58名が参加）

やまぐち未来アカデミア事業

(セミナーパーク指定管理事業) <政策企画課>

(再掲)

【事業内容】

○やまぐち まちづくりセミナー

中学生が様々なまちづくりの取組を知ることを通して、まちづくりに対する興味・関心を高め、身近な問題に向き合う視点や自分のまちへの愛着を育むプログラムを実施

○やまぐち「志」キャンプ

小・中学生を対象に、チャレンジ精神やコミュニケーション能力を育成するため、自然体験施設や歴史・文化施設における様々な体験プログラムを実施

【取組の現状】

○やまぐち まちづくりセミナー

令和7年7月13日(日)に開催(県内の中学生5名が参加)

○やまぐち「志」キャンプ

- ・前期 令和7年8月6日(水)～7日(木) 1泊2日(31名が参加)
- ・後期 令和7年12月6日(土)

地域連携教育再加速化事業 <地域連携教育推進課>

65,046 千円

【事業内容】

地域・社会との新たな協働体制を構築するとともに、子どもが主体となって地域の人と人をつなぐことを通じて、山口県の地域連携教育を再加速化し、子どもたちの地域の大人とのつながりや、ふるさとへの誇りと愛着を創出

○地域連携教育再加速化サポートチームの設置

○「子どもが地域の先生プロジェクト」の実施

○総合支援学校コミュニティ・スクールの強化

○やまぐち型社会連携教育の推進

○地域連携教育再加速フォーラムの開催

【取組の現状】

○県内7エリアに地域連携教育再加速化サポートチームを設置(CS チーフ6人、CS サポーター26人、地域学校協働活動推進員274人、その他支援員657人)

○社会との連携・協働による「総合的な探究の時間」の充実をめざす「やまぐち型社会連携教育推進事業」を19校の県立高等学校等で実施

○子どもが主体となって、子どもも大人も学び合う活動を実施する「子どもが地域の先生プロジェクト」を県内7地区におけるモデル校で実施

○地域連携教育再加速フォーラムを令和8年1月24日に開催予定

地域教育力日本一推進事業 <地域連携教育推進課>

43,084 千円

【事業内容】

学校・家庭・地域が連携・協働し、社会総がかりで子どもたちの学びや育ちを見守り、支援する本県ならではの地域連携教育の一層の充実に向けた取組を推進

○地域連携教育推進協議会・プロジェクト部会の開催

○地域連携教育の関係者を対象とした研修会の開催

- 地域学校協働活動の充実に向けた取組の実施
- 放課後子ども支援・地域未来塾支援・家庭教育支援の実施

【取組の現状】

- 各市町の地域連携に係る会議や研修機会の主体的開催を促進
- 活動推進の核となる人材が必要な知識・技能等を身に付ける「地域協育ネットコーディネーター養成講座」、「家庭教育アドバイザー養成講座」等の実施
(R7.3：地域教育ネットコーディネーター634人、家庭教育アドバイザー695人)
- 中学校区における統括コーディネーター等に対して地域学校協働活動推進員の委嘱を促進
(R7.5：274人)
- 家庭教育支援チームの設置促進 (R7.2：76チーム)

地域と連携したリアルな体験活動充実事業 <地域連携教育推進課> 6,216 千円

【事業内容】

学校や地域、企業、団体等と連携し、山口県の豊かな自然を生かしたリアルな体験活動を普及させることを通じて多様な他者との協働的な学びを提供するとともに、児童生徒の非認知能力を向上

- 小・中学生対象の長期自然体験活動及び体験エコツアーを実施
- 体験活動充実に資する指導者養成のための研修会を実施

【取組の現状】

○魅力発見エコツアー

自然環境や歴史文化等を体験しながら学ぶ地域の特色を生かしたエコツアーを実施予定

- ・開催日：11月1日（土）～11月3日（月）（2泊3日）
- ・開催地：周防大島町
- ・参加者：県内小学4～6年生及び中学生（計16名）

○やまぐちアドベンチャーキャンプ

世界的な冒険教育機関である OBS（Outward Bound School）の手法を取り入れ、野外活動とカウンセリングを組み合わせた長期自然体験活動を実施

- ・開催日：7月26日（土）～8月2日（土）（7泊8日）
- ・開催地：十種ヶ峰青少年自然の家及び周辺山域
(県内小学5・6年生及び中学生32名が参加)

○山口県野外教育活動指導者研修会

野外活動とカウンセリングを組み合わせた OBS 手法を活用できる指導者の養成に向けた長期の自然体験研修を実施

- ・開催日：7月26日（土）～8月3日（日）（8泊9日）
- ・開催地：十種ヶ峰青少年自然の家及び周辺山域
(県内教員及び社会教育関係者9名が参加)

生涯学習推進体制整備事業 <地域連携教育推進課>

7,547 千円

【事業内容】

山口県の先人に関する学習機会の充実を図るため、先人学習コーナー（セミナーパーク内）及びウェブページによる先人紹介コンテンツの提供や関係書籍の整備等を実施

【取組の現状】

YMfg 維新セミナーパーク内の先人学習コーナーの管理・運営を行うとともに、Webページ「山口県の先人たちウェブサイト」を活用し、先人学習情報等を発信

【課題及び今後の対応】

- 小中学生や高校生のうちに県内企業を知ってもらう機会を創出することを通じて、子どもや若者のふるさとへの企業に対する愛着を育み、将来的な県内就職につながる取組を推進する必要がある。
- 若者の県内定着やふるさと回帰をより推進するため、サードプレイス事業の県内他地域への展開を図る必要がある。
- 子ども・若者の発達の段階に応じたふるさと学習プログラムとなるよう、地域資源や人材を活用し、更なる内容の充実・質の向上を図る必要がある。
- リアルな体験活動を通じて、子どもたちのふるさとへの誇りと愛着を育むため、山口ならではの自然を生かした、山口独自の手法による自然体験活動を推進する必要がある。
- 地域・社会の多様な人々とつながり、協働することを通じて、子どもたちのふるさとへの誇りと愛着を高め、豊かな人生を主体的に切り拓いていく「地域の創り手」として育む必要がある。
- 「学校・地域連携カリキュラム」の共有、実践、評価、改善を通じた地域のネットワークの強化により、地域と共に子どもたちの豊かな学びと育ちを実現する取組を推進する必要がある。

- ③県内大学や企業等の連携・協働により、新たな価値を創造する力を育む教育プログラムを充実するとともに、世界の先端的な知見に触れるプログラムや国際交流を通じたグローバル人材の育成、主体的にキャリアを構築する力の育成、生成AI等新しい技術を活用する力を育成する取組を推進

新 若者活躍による観光力パワーアップ事業 <観光政策課> 10,000 千円

【事業内容】

高校生や大学生が地域の様々な関係者と連携して実施する観光振興の取組を支援し、若者目線による魅力ある観光地域づくりを進めることにより、新たな観光人材を発掘・育成

- 高校生・大学生が授業等の中で実施する観光地域づくりの取組への支援
- 学生や教員、観光事業者等が参加するフォーラムの開催

【取組の現状】

- 取組支援対象校（5校）を選定し、各校において地域と連携した観光振興に向けた取組に着手
- 各校の取組内容に応じた伴走支援を実施

新 DXで未来を創る！やまぐち探究レベルアップ事業 <高校教育課> 10,000 千円

【事業内容】

新たな価値を創造する人材の育成に向け、ICT・AI等を活用し、文理横断的・探究的な学習

の高度化を図り、その取組・成果を広く県内に発信・横展開することで、探究的な学習活動を推進

- 文理横断的・探究的な学習の効果的な指導方法等、中核教員を育成する研修の実施
- 探究的な学習の質を向上させるための生徒を対象とした講座の実施
- 調査・分析・フィードバックによる学習成果の可視化
- 小・中・高生に対する探究的な学習の取組、成果や魅力の発信

【取組の現状】

- 中核教員の育成：探究学習の指導におけるA I の活用を中心とした講座を9月以降に5回実施予定
- 生徒対象講座：A I ・I C Tの活用、英語によるオンライン文化交流等を文理探究科各校で随時実施するとともに、参集交流会を3月に実施予定
- 成果・魅力の発信：文理探究科各校における取組をまとめた動画を作成・発信予定

拡 生成A I を活用した家庭と学校の学びの好循環創出事業 <義務教育課>

46,532 千円

【事業内容】

令和6年度のモデル校での実証の成果と課題を踏まえ、県内全公立中学校において、生成A I ・学習アシスタントアプリの普及に向けた導入を行い、家庭における「学び」と学校における「学び」の好循環を創出

【取組の現状】

令和7年5月に県内全公立中学校（特別支援学校中学部含む）にアプリ「スタディポケット」を導入し、運用を開始した。家庭学習及び授業での活用が進んでいる。

- やまぐちっ子家庭学習推進協議会第1回を実施
- 「I C T利活用に関する研修会」を開催し、事後にはオンデマンド配信を実施

新たな学びの場創出事業 <政策企画課>

(再掲)

再掲2・7頁

新たな時代の人づくりウェルビーイング向上事業 <政策企画課> 10,880 千円

【事業内容】

新たな時代の人づくりにウェルビーイングの観点に着目して取り組むことにより、本県の将来を担う子どもや若者の自己肯定感や多様性への理解、主体性などの育成・向上を図るとともに、それを支える支援体制の強化・充実を促進

- 子ども・若者のウェルビーイングを身に付ける機会を創出するワークショップの開催
- 各主体の取組の支援に向けたファシリテーターワークショップの開催
- ウェルビーイングの観点に着目した人づくりの取組の情報発信

【取組の現状】

- 中高生向けのワークショップの実施
 - ・日 時：①7月27日（日）、②9月21日（日）
 - ・場 所：YMfg 維新セミナーパーク
(中学生及び高校生13名が参加)
- 教育関係者向けのワークショップの実施
 - ・日 時：①7月26日（土）、②9月20日（土）、③11月24日（月・祝）

- ・場 所：YMfg 維新セミナーパーク
(教職員、教育委員会職員等28名が参加)

○保育関係者向けのワークショップの実施

- ・日 時：①7月27日(日)、②9月21日(日)、11月24日(月・祝)
- ・場 所：YMfg 維新セミナーパーク
(保育士、幼稚園教諭及び放課後児童支援員等10名が参加)

○大学生・若手社会人向けのワークショップ(やまぐちしあわせ会議)の実施

- ・日 時：10月25日(土)
- ・場 所：宇部市ときわ公園
- ・対象者：大学生・若手社会人 30人程度

やまぐち未来アカデミア事業

(セミナーパーク指定管理事業) <政策企画課>

(再掲)

【事業内容】

○やまぐち若者 MY PROJECT

高校生を対象に、県内大学生・若手社会人をメンターとして、課題解決型ワークショップや定期的にメンターとオンラインゼミを行いながら、プランを深めるプロジェクトを実施するとともに、全高校生を対象とした探究活動発表会(やまぐち探究サミット)を開催

○モノづくりを中心としたワークショップを一堂に集めたイベントの開催(再掲2頁)

【取組の現状】

○やまぐち若者 MY PROJECT

①スタートアッププログラム

- ・令和7年8月3日(日) 場所：YMfg 維新セミナーパーク
(県内高校9校、15プロジェクトが参加)

②プロジェクト実践

それぞれの地域で大人や学校を巻き込みながらプロジェクトを実践

③探究ゼミ

- ・令和7年9月19日(金)、11月11日(火) オンライン
プロジェクトに取り組む上で役に立つ知識や先輩の経験を月1回のオンラインゼミで学ぶとともに、必要に応じて社会人や大学生メンターにプロジェクトについて相談

④やまぐち探究サミット

- ・Day1 令和7年12月21日(日) オンライン
自らのプロジェクトを振り返り、アクションを通して見えた「学び」の言語化をする場
- ・Day2 令和8年2月1日(日) 場所：YMfg 維新セミナーパーク
探究的な学びをしてきた参加者がプレゼンテーションを通してプロジェクト実践を振り返り、互いに学びあう発表の場

2050 ゼロカーボン・チャレンジ推進事業 <環境政策課>

5,074 千円

【事業内容】

次世代を担う人材の育成

○山口大学グリーン社会推進研究会と連携した環境学習の実施

○次世代環境リーダー育成プロジェクトの実施

【取組の現状】

○山口大学グリーン社会推進研究会と連携した環境学習の実施

カーボンニュートラルへの理解と思考法・発想力を高めることを目的として、県内の小・中学生を対象とした環境学習（パブリック・ディベート大会）を実施

中学生大会 8月2日（土）、KDDI 維新ホールで開催
（中学生59名が参加）

小学生大会 12月7日（日）、KDDI 維新ホールで開催予定

○次世代環境リーダー育成プロジェクトの実施

県内の高校生を対象に、気候変動問題等の課題について専門家等から学ぶとともに、自ら企画・発表する場を提供

・7月～2月、県内の高校生を対象に開催

スタートアップ起業家育成事業 <経営金融課>

15,452 千円

【事業内容】

高校や大学が実施する起業家教育に係るカリキュラムの作成や授業運営を支援

【取組の現状】

○起業家教育支援実施校7校を決定

○各校の状況に応じた支援を実施

企業から学ぶ！専門高校カーボンニュートラルプロジェクト <高校教育課>

5,427 千円

【事業内容】

専門高校において、脱炭素化に取り組む県内企業と連携した教育活動を展開し、カーボンニュートラルの実現を担う人材を育成

○カーボンニュートラルの実現に向けた企業と連携した教育活動の実施

【取組の現状】

○実施校（10校）を選定し、企業と連携した教育活動を実施

・Technology 関連企業との連携

実施校	大学科	研究テーマ	主な連携先
岩国工業高校	工業	脱炭素化・環境保護に関する研究	(株)サンライン
徳山商工高校	工業	「周南コンビナート」の脱炭素化の現状と課題	東ソー(株)
南陽工業高校	工業	製造現場における脱炭素の取組についての研究	日本製鉄(株)山口製鉄所
防府商工高校	工業	緑のカーテンによる教室断熱効果の検証	中国三國重工業(株)山口工場
美祢青嶺高校	工業	自然エネルギー「地中熱」を利用した省エネシステムの研究	(株)ジオパワーシステム

・Life 関連企業との連携

実施校	大学科	研究テーマ	主な連携先
田布施農工高校	農業	未利用農産物を活用した商品開発	ほうふーどファクトリー
柳井商工高校	商業	カーボンニュートラルを生かした「高校生版 CSR」の研究	(株)丸久
宇部商業高校	商業	廃油発電を題材にしたエネルギーミックスの研究	(株)アースクリエイティブ
厚狭(厚狭明進)	家庭	厚狭・厚狭明進高校6次産業システムの構築と実践	(株)花の海

高校		～農作物生産⇒消費・商品化⇒生ごみ堆肥化のリサイクルシステムから家庭におけるカーボンニュートラルを学ぶ～	道の駅於福
田部高校	家庭	地域の資源を有効活用した商品・レシピ開発	(株)秋川牧園

○実施校を対象とした「スタートアップ研修」を実施

○県内高校生を対象とした「脱炭素社会に係る認知度調査」を実施

生涯学習推進体制整備事業 <地域連携教育推進課>

(再掲)

【事業内容】

生涯学習情報提供システム「かがやきネットやまぐち」において、関係機関と連携し、各種講座やリカレント教育等に関する登録情報を拡充

【取組の現状】

生涯学習情報提供システム「かがやきネットやまぐち」を運用し、大学をはじめとする様々な団体が実施する講座等の情報を提供

やまぐち発！グローバル・リーダー育成事業 <高校教育課>

15,732 千円

【事業内容】

海外留学に向けた機運の醸成や、海外留学する高校生への支援とともに、世界トップレベルの大学と連携した講義の実施により、将来の山口県を担うグローバル・リーダーを育成

○スタンフォード大学と連携したオンラインプログラムの実施

○短期留学プログラムの実施及び参加生徒への留学経費補助

○留学フェアの開催による留学機運の醸成

【取組の現状】

○スタンフォード e-Yamaguchi プログラム

・実施時期：令和7年9月27日（土）～令和8年3月21日（土）

※ 開講式：令和7年8月20日（水）

・実施形態：オンラインによる遠隔授業

・テーマ：“Leadership for a Sustainable Society” ～持続可能な社会の担い手として～

・講義内容：「起業家精神（アントレプレナーシップ）」、「地域活性化とツーリズム」等

・受講者：30名

○短期留学プログラム

・留学期間：令和7年7月21日（月）～8月5日（火）

・留学先：オーストラリア キーンズランド州 ブリスベン

・人数：20名

・補助金：6万円／人

○山口から世界へ GoGo プログラム（予定）

・実施時期：令和7年9月13日（土）

・実施会場：山口県健康づくりセンター（多目的ホール等）

・内容：講演、留学体験発表、奨学金等の留学情報の提供 等

【事業内容】

「地域に住む外国人や海外との交流を通じた地域活性化に関する教育活動」を実施することにより、地球規模・国際的（グローバル）な視点や経験を生かして、自分たちの地域（ローカル）社会に貢献する活動を行う人材を育成

【取組の現状】

- ・参加者：県東部地域の県立高校生等 172 名
- ・内 容：オンライン英会話、グローバル探究（ハワイ研修）、国際交流体験、ローカル探究、グローバル・ラボ（ワークショップ等）の通年プログラム

データサイエンス活用推進事業 <産業人材課>

2,494 千円

【事業内容】

産学公連携によりデータサイエンスの活用を推進し、県内企業の技術力・研究開発力の強化を図るため、データサイエンティストを育成

- データサイエンティスト育成に係る専門カリキュラムの受講支援
- ビッグデータ解析等によるケーススタディの実施

【取組の現状】

- 山口大学の「データサイエンス講座（マスター講座）」の社会人受講者を募集 受講者 13 名のうち県内中小企業から受講推薦があった 7 名については、受講料を補助
- ビッグデータ解析等によるケーススタディの対象テーマを決定し実施予定

女性デジタル人材育成事業 <産業人材課>

35,833 千円

【事業内容】

県内企業や大学等と連携し、短期間で実務的なプログラミング講座を実施し、企業や女性のニーズに沿った人材育成、就業支援を実施

【取組の現状】

- 「やまぐち女性デジタル人材育成コンソーシアム」を設置し、参加企業を募集中
- プログラマー養成講座を開講中（9月上旬～1月下旬）

やまぐちスマートスクール構想推進事業 <教育情報化推進室> 2,441,810 千円

【事業内容】

デジタル人材の育成や教員の ICT 活用指導力の向上などに取り組み、「やまぐちスマートスクール構想 2.0」を推進

- やまぐち ICT 活用コンテスト等の実施
- AI イノベーター育成講座の開催

【取組の現状】

- 高校生 ICT 活用コンテスト
 - ・デザイン思考ワークショップ
- 第 1 回：7 月 27 日（日）（7 校 29 名（うち教員 3 名）参加）
- 第 2 回：9 月 21 日（日）

- ・やまぐち高校生ハッカソン
第1回：8月4日（月）（15名参加）
第2、3回：8月30日（土）、9月19日（金）
 - ・応募期間：11月1日～12月15日
①DX アイデア ②DXクリエイティブ・ソフトウェア ③DXデジタル・ものづくり
- OU18 デジタルアートコンテスト（小・中・高校生が対象）
- ・応募期間：8月1日～10月5日
①イラスト ②マイクラ ③その他 ④plus(+)プレゼン
- ジュニアプログラマーコンテスト（小・中学生が対象）
- ・Scratch ワークショップ
7月30日（水）、31日（木）、8月19日（火）に実施（54名参加）
（第4回を11～12月頃に予定）
 - ・応募期間：8月1日～9月30日
①ブロックプログラム ②一般プログラム（ブロック型以外）
- 高校生A I イノベーター育成講座
- ・基礎講座：高校生24名受講
開講式及び第1回ハンズオンセミナーを、KDDI 維新ホールで開催（7月21日）
オンデマンド配信講座に加えて、全5回のハンズオンセミナーを実施予定、ハンズオンセミナー内でコンペティションを開催
 - ・ステップアップ講座：高校生7名
オンデマンド配信講座に加えて、全3回のハンズオンセミナーを実施予定、ハンズオンセミナー内でコンペティションを開催

DXハイスクール推進事業 <教育情報化推進室>

158,000 千円

【事業内容】

高校段階におけるデジタル等の成長分野を支える人材育成の強化を図るため、情報、数学等の教育を重視するカリキュラムを実施するとともに、文理横断的・探究的な学びを強化する教育活動の充実などデジタル人材育成に向けた環境整備を推進

○専門人材の招へい等による教育活動の充実

○ICT機器等の整備

【取組の現状】

○生徒が探究的な学びを推進するためのDXに関する知識や技術に触れる全校イベント（招へいた専門人材による講演や講座）の開催

○生徒や教員が大学や企業を訪問し、データサイエンス等に係る講義を受講

○高性能パソコン等のICT機器の整備

【課題及び今後の対応】

- 地域事業者等との連携による旅行商品の造成等、取組をより具体化させていく中で、新たな価値を創造することのできる観光人材を育成する必要がある。
- 世界に向けた広い視野と地域の身近な問題に目を向ける視点の両方を持つ人材を育成するため、海外との交流を行う学校を拡充させるとともに、オンラインの国際交流プログラム等を通じて世界の先端的な知見に基づく講義を実施するなど、交流内容を充実させる必要がある。
- 環境分野における次世代を担う人材育成のため、引き続き、交流会の開催や学習機会の提供など、環境教育・環境学習の充実を図る必要がある。
- 課題解決力や行動力を育成するため、人づくり推進ネットワーク等を活用して企業等との連携を強化する必要がある。
- 子どもたちが将来に夢や目標を抱き、具体的な将来のイメージが持てるよう、地域の大人や先輩の生き方や考え方、多様な職業に触れる体験的な機会を充実し、自らキャリアを構築する力を育成する必要がある。
- 企業においてＡＩ等未来技術の導入・利活用等が円滑に進むよう、企業ニーズを踏まえた人材育成支援に取り組む必要がある。
- 県内企業における生産性の向上や既存ビジネスの変革等を促進するため、経営者や求職者、就業者等に対してＤＸ・ＩＴ分野に係る研修・訓練等を実施する必要がある。
- 県民が主体的に学習に取り組むことにより、社会の中で充実した生活を送ることができるよう、引き続き、生涯学習情報や学習機会の提供など、生涯を通じて学び続けることができる環境づくりを推進する必要がある。

- ④障害がある者となない者が共に学ぶインクルーシブ教育システム、特別な支援を必要とする幼児・児童生徒へのきめ細かな対応等の充実、奨学金返還支援制度の利用拡大に向けた取組など、障害の程度や家庭の環境などにかかわらず、誰もが学びへの意欲を高め、等しくチャレンジできる環境を整備

新 こどもまんなか育成支援活動プラットフォーム形成事業 <こども家庭課> 13,000 千円

【事業内容】

全ての子ども・若者が安全で安心して過ごせる居場所を持ちながら、多様な体験活動等を経験することで、幸せに心豊かに成長していけるよう、教育や福祉など子育て支援機関による連携基盤を形成し、子ども一人ひとりのニーズに応じた支援活動を深化

- 子ども子育て支援機関による連携プラットフォームの形成
- 子ども一人ひとりの課題やニーズに対応した支援活動の実践
- 支援活動に関する理解促進

【取組の現状】

- 子ども子育て支援機関による連携プラットフォームの形成に向けて、県や民間団体等で構成する支援活動推進会議を立ち上げ、情報交換や協議を実施
- 多様な体験機会の提供に向けて取組支援の実施（助成金の交付決定）

○全ての子ども・若者に体験機会の提供に向けて、子どもの体験活動に係る理解を深めるための講演会を開催（８月２３日）

新 親子関係再構築支援体制整備事業 <こども家庭課> 40,000 千円

【事業内容】

児童虐待の発生予防・再発防止を図るため、虐待をはじめとする養育上の問題や課題に直面している親子に対して、親子関係の修復や再構築に向けた専門的な支援を関係機関と連携して実施

- 親子関係再構築支援員の配置
- 支援プログラム等の資格取得支援
- 第三者機関による支援体制の強化
- 支援プログラムの実施

【取組の現状】

- 各児童相談所に親子関係再構築支援員を配置（計１１名）
- 児童相談所において親子関係の修復や再構築に向けた専門的な支援が実施できるよう、児童相談所職員に対する支援プログラム等の資格取得支援を実施
- 児童養護施設や児童家庭支援センター等の第三者機関において親子関係の修復や再構築に向けた専門的な支援が実施できるよう、第三者機関職員を対象とした研修会を開催（７月１８日）
- 各児童相談所において、虐待をはじめとする養育上の問題や課題に直面している親子に対して支援プログラムの実施等による親子関係再構築支援を実施

新 誰一人取り残されないいじめ不登校対策事業 <学校安全・体育課> 228,735 千円

【事業内容】

いじめ・不登校等の未然防止・早期発見・早期対応に向けた取組を充実させ、様々な困難を抱える全ての児童生徒が安心して学ぶことができる学校づくりを推進

- アウトリーチ型支援による教育相談体制の充実
- 不登校等児童生徒に対する校内の居場所づくり
- 組織的対応を支える取組の強化

【取組の現状】

- 全中学校区及び全県立学校へのスクールカウンセラー（SC）の配置拡充
- スクールソーシャルワーカー（SSW）による児童生徒・家庭への支援体制の充実
- 小学校の就学時健診等への SC 派遣
- 自分のクラスに入りづらい児童生徒の学校内の居場所となる小中学校の「校内教育支援センター」の設置促進に向け、支援員を配置する市町に対する支援
- 重大事態等に対して SC、SSW 等の専門家の派遣による、心のケア・早期復帰の支援
- 個別のいじめ事案への直接的な対応等を行う「いじめ対策マイスター（警察 OB）」の配置
- 困難事案等に対し、解決策の整理などの伴走型支援を行う「問題解決支援コーディネーター（学校管理職 OB）」の配置

新 生徒指導推進事業（スクールロイヤーによる支援体制の強化）
＜学校安全・体育課＞ 4, 139 千円

【事業内容】

いじめ対応など法務の専門家への相談を必要とする事案に対応するため、県教委内に弁護士を配置し、教育行政に係る法務相談等の支援体制を強化

- 教育全般に係る法務相談等の支援体制の強化
- いじめ等の生徒向け及び教職員向けの研修の実施

【取組の現状】

- 学校におけるいじめ対応やハラスメント相談など教育全般に係る法務相談の実施
- 学校現場を訪問し、学校だけでは解決困難な事案への対応に係る法的な助言など、初期対応の段階から支援を実施
- いじめに係る生徒向けの未然防止や教職員向けの初期対応等に関する研修の実施

拡 不登校対策のためのステップアップルームの取組強化 ＜学校安全・体育課＞
給与費

【事業内容】

中学校において、通常の学級での学習や集団での生活が困難となった生徒のための教室「ステップアップルーム」に、指導経験豊富な専属教員（サポート教員）を配置

- 個別の学習支援を行うサポート教員の配置
- サポート教員アドバイザーの配置
- 不登校等生徒への支援の充実に向けた連絡会議の開催

【取組の現状】

- 県内の中学校に配置するサポート教員を25人から35人に拡充することで、教室への復帰や不登校の未然防止、集団生活への適応について取組・支援を強化
- 経験豊富なサポート教員の中でも特に充実した支援を行っているサポート教員をアドバイザーとして他のステップアップルーム設置校や未設置校に派遣
- ステップアップルーム設置校や市町教育委員会を対象とした、不登校対策の取組やステップアップルームにおける取組・支援の好事例についての連絡会議の開催

拡 私立幼稚園預かりサポート推進事業 ＜学事文書課＞ (再掲)

再掲1頁

拡 私立高校生等奨学給付金事業 ＜学事文書課＞ 201, 266 千円

【事業内容】

全ての意志ある生徒が安心して教育を受けられるよう、授業料以外の教育費負担を軽減するため、低所得世帯の私立高校の生徒等に対して奨学のための給付金を支給

【取組の現状】

低所得世帯の生徒に対して奨学のための給付金を支給

【事業内容】

授業料以外の教育費負担の軽減を図り、生徒が安心して教育を受けられる環境を整備するため、低所得世帯等の生徒に対して奨学のための給付金を支給

【取組の現状】

生活保護世帯・非課税世帯や多子世帯の高校生等に対して、授業料以外の教育費（教科書、教材、学用品、通学用品、教科外活動費、通信費など）に充てることができる奨学給付金を支給

誰もが育ち・学び・遊べる幼児教育環境づくり推進事業 <学事文書課>

(再掲)

再掲1頁

誰もが育ち・学び・遊べる保育環境づくり推進事業 <こども政策課> (再掲)

再掲2頁

新たな学びの場創出事業 <政策企画課>

(再掲)

【事業内容】

○東京大学先端科学技術研究センター連携事業

地域資源などを活用し、身近なものから学ぶ力を育成するプログラムを実施

【取組の現状】

○「LEARN in やまぐち」の開催（年2回開催 10月、11月開催予定）

2市町教育委員会と連携して実施予定

こどもの発達支援体制整備事業 <障害者支援課>

12, 000 千円

【事業内容】

各圏域の児童発達支援センターを中心とした、地域の障害児や発達の気になる子どもへの支援体制を整備

○専門職員（言語聴覚士等）による保育所等への巡回支援

○保育所等職員向け研修の実施

○外来相談対応

【取組の現状】

主に各圏域の児童発達支援センターを中心とする施設において、発達が気になる子どもや家族への相談等支援を行うとともに、地域の保育所や障害児通所支援事業所等職員に対する助言・指導等を実施。

○実施施設数 11箇所

○子どもと家族等への相談支援等実施件数 延1, 939件

○地域の保育所・障害児通所支援事業所等職員に対する助言・指導等実施件数 延277件

医療的ケア児支援センター運営事業 <障害者支援課>

7, 591 千円

【事業内容】

医療的ケア児及びその家族等に対する専門的な相談支援を行う地域の拠点として、医療的ケア児

支援センターを設置し、医療的ケア児及びその家族又は関係者からの相談に応じ、情報の提供又は助言その他の支援を行うとともに、医療、保健、福祉、教育、労働等の関係機関等への情報の提供及び研修を実施

【取組の現状】

○県東部及び西部の2箇所に設置した「山口県医療的ケア児支援センター」により、家族等からの相談対応及び関係機関等との連絡調整を実施

- ・4～7月の相談支援実績：東西センター計14件

○医療、福祉、教育等の圏域内関係機関の連携強化を図るため、下関圏域医療的ケア児支援連携会議を開催予定（10～12月頃）

○医療的ケア児等支援コーディネーター養成研修を11～12月に開催予定

難聴児支援推進事業 <障害者支援課>

5,323千円

【事業内容】

難聴児とその家族等に対し、乳幼児から切れ目なく、多様な状態像に応じた支援が行えるよう、総合的な支援体制を整備

○難聴児支援地域協議会の設置

○家族等支援業務

- ・保護者に対する相談や難聴児の通園先等への巡回支援を実施

○難聴児支援従事者専門性向上研修の開催

○補聴器購入費等の一部助成

【取組の現状】

○医療、福祉、教育等の関係機関及び当事者で構成する「県難聴児支援地域協議会」を開催予定（1～3月頃）

○家族への相談支援及び巡回支援を実施

- ・4～6月の相談・巡回支援実績 18件

○難聴児支援従事者専門性向上研修を開催予定（10～12月頃）

○医療、福祉、教育等の関係機関及び当事者で構成する「県難聴児支援地域協議会」を開催予定（1～3月頃）

こどもまんなか保育体制強化事業（医療的ケア児受入体制整備支援）

<こども政策課> （再掲）

【事業内容】

保育所等の利用を希望する医療的ケア児の受入れが可能となるよう、医療的ケア児の受入れに必要な体制整備に係る経費を支援

○医療的ケア児の保育所受入に係る看護師配置等

【取組の現状】

医療的ケア児の受入れを行っている保育所等において必要な看護師の配置に要する経費等を支援（今後、交付申請を受付予定）

地域子ども・子育て支援事業 <こども政策課>

（再掲）

再掲3頁

【事業内容】

通学が困難な児童生徒や障害のある児童生徒に対して、学びの機会を保障するため、自宅・病室等の学習者用端末と教室等にいる分身ロボットをネットワークで接続し、遠隔授業を実施

【取組の現状】

- 総合支援学校において、全児童生徒への1人1台端末や通常の端末操作が困難な児童生徒への入出力支援装置を活用した教育を実施
- 分身ロボットを用いて、訪問教育対象児童生徒や入院等で通学ができない生徒に対して、遠隔授業を実施

乳幼児の育ちと学び支援事業 <義務教育課>

(再掲)

再掲4頁

インクルーシブ教育システム推進事業 <特別支援教育推進室>

9,667 千円

【事業内容】

障害のある者と障害のない者が共に学ぶ仕組みであるインクルーシブ教育システムの充実に向けて、特別支援教育に係る体制整備を推進

- 障害が重度の児童生徒が在籍する学校への専門家派遣
- 管理職を含めた全ての教員が発達障害を含む障害のある幼児児童生徒に対する特別支援教育に取り組んでいくための体制構築等に関する研修を実施
- 総合支援学校就職支援コーディネーターの配置

【取組の現状】

- 障害の重度・重複化、多様化に対応するための外部専門家（理学療法士、作業療法士、言語聴覚士等）を招聘できる体制を整備
- 医療的ケアを必要とする児童生徒が校外学習に参加する機会を確保するため、看護師が同行して支援
- 市町教委と連携し、将来、地域における特別支援教育推進の中心となることが期待される指導者の専門性向上に向けた研修会を開催
(第1期：研修動画視聴 第2期：11月19日オンライン)
- 総合支援学校高等部生徒の卒業後の自立や社会参加を促進するため、就職支援コーディネーターを配置し、現場実習先の確保や就職支援を実施
 - ・県内4校に4名を配置（田布施総支、山口南総支、宇部総支、下関総支）
 - ・令和7年度（4～6月）就職支援コーディネーターの企業等への訪問回数計114回
- 管理職を含めた全ての教員が特別支援教育の専門性向上に取り組むため、研修プログラム等を作成・活用し、その有効性の検証を実施
 - ・「特別支援教育コアカリキュラム（試案）」を市町教育委員会の研修計画で活用
 - ・前年度に配布した「教員のための学び方ガイド（試案）」を活用した研修を各校へ奨励
 - ・「特別支援教育コアカリキュラム（試案）」及び「教員のための学び方ガイド（試案）」の改訂
 - ・特別支援教育シニアアドバイザー2名の配置を継続し、学校訪問による相談支援を継続
 - ・シニアアドバイザーによる学校訪問を、小・中学校に加え高等学校にも拡充
 - ・県内の公立小中学校校長を対象とした特別支援教育管理職研修会を実施

子育て支援のための私立高校生授業料等減免事業＜学事文書課＞77,410 千円

【事業内容】

高校段階における子育て支援として、私学の多様な教育を選択し安心して学べる環境づくりを推進するため、経済的な理由で就学が困難な生徒等を対象として授業料等の減免を行う学校法人に対して助成

- 授業料等減免（私立高等学校（全日制）、私立高等専修学校（大学入学資格付与校）等）
- 入学時納付金減免（私立高等学校（全日制））

【取組の現状】

私立高校生の授業料等の軽減事業に対する支援を実施

やまぐち若者育成・県内定着促進事業 ＜政策企画課＞

3,062 千円

【事業内容】

経済的な理由で修学が困難な学生が自らの「志」に基づいて、学びを追求できるよう支援を充実するとともに、県内で活躍する人材の確保を促進

- 奨学金返還の支援（R7 予算計上なし）
- 県内高校生等への制度活用に向けた広報

【取組の現状】

奨学金返還補助制度の周知

- 県内高校生等へのチラシやポスターの作成・配布
- 無料情報誌及び SNS を活用した情報発信
- ホームページや 1 人 1 台端末等を活用した情報発信

社会的養護のこども権利擁護環境整備事業 ＜こども家庭課＞

10,000 千円

【事業内容】

社会的養護を必要とする子どもが施設入所等の措置や処遇等に関して意見を表明することを支援する体制を整備

- 子どもの意見表明等相談窓口の設置
- 意見表明等支援員の訪問等による意見表明の支援
- 子どもの申し立てに基づく調査審議等の実施

【取組の現状】

- 意見表明等支援員を養成するための「子どもアドボカシー基礎講座」の開催
基礎講座受講者：31 人
- 施設等における意見表明等支援員の受入に向けて関係機関と調整し、了解が得られた施設等から順次実施。意見表明等支援員受入開始施設：2 か所

社会的養護経験者等自立サポート事業 ＜こども家庭課＞

10,000 千円

【事業内容】

社会的養護経験者等の孤立を防ぎ、適切な支援につなげるための自立支援拠点の整備

- コーディネーターによる生活や就労等に関する相談支援
- 社会的養護経験者等の相互交流の場の提供
- 一時的に滞在できる居場所の提供

【取組の現状】

- 社会的養護経験者等自立支援拠点『DaBeRi 場 in 「つむぎ」』を開設（R6.4月）
- 社会的養護経験者等に対し、生活、就労等に関する情報提供や相談支援、関係機関との連絡調整、一時避難的かつ短期間の受入れ先の確保等を実施
- 児童自立生活援助事業の利用受付 8人（R7.4～R7.7）

地域こどもの居場所づくり体制強化事業 <こども家庭課>**33,079 千円****【事業内容】**

全ての子どもが、安心・安全に過ごすことができる多くの居場所で、様々な学びや多様な体験活動に接しながら成長し、主体性や想像力を十分に発揮して社会で活躍できるよう、「こども食堂など、こどもの居場所づくり」に向けた市町の取組を支援

- 市町等への体制整備に向けたコーディネーターの配置
- 市町が実施するこどもの居場所づくりへの支援
- 市町との連携体制の整備

【取組の現状】

こどもの居場所づくりの開設・運営相談窓口となるコーディネーターを配置するとともに、開設希望者・団体等を対象とした専門セミナーを開催

ヤングケアラー相談支援体制整備事業 <こども家庭課>**6,600 千円****【事業内容】**

本来、大人が担うような家事や家族の世話などを日常的に行うヤングケアラーを早期に把握し、適切な支援につなげるため、相談窓口の整備や支援人材の育成等の取組を総合的に推進

- ヤングケアラーへの理解促進のための広報や出前講座の実施
- 関係機関職員に対する研修
- 専門相談窓口の設置等による相談支援体制の整備

【取組の現状】

- ヤングケアラー自身や周囲の子どもにヤングケアラーについての理解を促す子ども向けリーフレットを作成し、学校を通じて児童・生徒に配布
- ヤングケアラー・コーディネーターを講師として派遣し、ヤングケアラーに関して説明をするお届け講座を実施
- 福祉・介護・医療・教育等の関係機関職員等に対して、「ヤングケアラー支援のための多機関連携研修会」を開催（7月28日、8月4日、8月8日）
- ヤングケアラーに関する相談をワンストップで受け付け、市町や福祉サービス提供事業者等の関係機関と連携して適切な支援につなげる「ヤングケアラー専門相談窓口」の運営

大学等受験料補助事業 <こども家庭課>**44,300 千円****【事業内容】**

子どもの進学が、家庭の経済状況など、生まれ育った環境に左右されることなく、全ての子どもたちが大学等の進学に挑戦していけるよう、ひとり親家庭や、低所得子育て世帯の子どもを対象に、大学・短期大学・専門学校・高等専門学校に係る受験料を支援

- ひとり親家庭や低所得子育て世帯の子どもの大学等の受験料を助成（上限 53 千円／人）

○大学等の入学前から入学、卒業後までの他の支援制度の切れ目のない支援に向けた他の支援制度との連携

【取組の現状】

大学受験のシーズンに向け、ひとり親家庭や低所得世帯の子どもの大学等の受験料の補助の募集開始予定

県立高等学校再編に係る遠距離通学支援事業 <教育政策課> 32,307 千円

【事業内容】

県立高等学校の再編整備により、居住地域に県立高校がなくなることに伴い、予期せぬ進路変更により遠距離通学が必要となった生徒に対し、一定の期間、通学費を支援

【取組の現状】

再編整備（募集停止）した県立高校と同地域に居住し、遠距離通学を行う高校生等に対して、通学費の一部を支援

中学校及び高校０年生からの教育相談事業 <学校安全・体育課> 34,038 千円

【事業内容】

いじめや不登校等の未然防止に係る教育相談体制の充実を図るため、中学校及び高校の入学前後の児童生徒に対し教育相談を実施するなど、切れ目のない支援体制を構築

【取組の現状】

○いじめの認知件数が中学校・高校ともに１年生が一番高いことから、入学前の児童生徒（０年生）を対象に教育相談を行うとともに、入学後も支援を実施

私立高等学校等就学支援事業 <学事文書課> 62,850 千円

【事業内容】

家庭の状況に関わらず、全ての意志ある私立高校生等が安心して勉学に打ち込めるよう、私立高校生等に対して授業料の一部（低所得世帯の生徒に対しては増額）を助成することにより、家庭の教育費負担を軽減

○私立高等学校等学び直し支援事業

高等学校等を中退した者が再度入学し学び直す場合に授業料の一部を助成

【取組の現状】

私立高校に再度入学し学び直す場合の授業料の一部を支給

【課題及び今後の対応】

- 私立学校における特色ある教育を推進するため、私立学校の教育条件の維持・向上や環境整備に対する支援を行う必要がある。
- 依然として深刻ないじめ・不登校等生徒指導上の諸課題については、その未然防止・早期対応に向けた教職員の資質向上の取組や、不登校児童生徒の学ぶ機会、および子どもたちの居場所の確保・充実にに向けた取組を推進する必要がある。
- 様々な家庭環境にある子どもたちを支援するため、引き続き、多様な学びや体験の場を提供し、地域における見守り機能を果たす子どもの居場所づくりの取組を推進する必要がある。
- 経済的な理由や障害など、困難を抱える子どもたちの学ぶ力の育成や「志」に基づき学びを追求できるよう支援を充実する必要がある。
- 障害のある児童生徒等の自立と社会参加を見据え、整備したＩＣＴ機器等を効果的に活用しながら、それぞれの学びの場における各教科等の学習や、コミュニティ・スクールを核とした学校間や地域との交流及び共同学習、実践的・体験的な学習活動の一層の充実により、インクルーシブ教育システムの充実をめざす取組が必要である。

- ⑤「第３期県立高校将来構想」に基づく中高一貫教育校の設置や探究科の拡充などの特色ある学校づくりや、「やまぐちスマートスクール構想」による児童生徒一人ひとりに合った学びの支援、私立学校における特色ある教育の推進、地域連携教育の再加速、「山口県立大学将来構想」に基づく高大連携の一層の推進や地域・企業等との共創など、地域や時代のニーズに対応し、将来を見据えた教育環境づくりを推進

新 教育ＤＸ推進に向けた県立学校ネットワーク高速化事業
＜教育情報化推進室＞ 23,869 千円

【事業内容】

県立学校のネットワークを「やまぐち情報スーパーネットワーク」経由で学術情報ネットワークＳＩＮＥＴに接続する環境を構築し高速化するとともに、ＳＩＮＥＴを活用したデジタル活用事例を収集・横展開することで教育ＤＸを促進

【取組の現状】

ネットワークの高速化に向けた具体的な対応を検討

新 県立高校等１人１台端末購入費支援 ＜教育情報化推進室＞ 債務負担行為

【事業内容】

県立高校等の１人１台端末の整備に係る費用を保護者負担へ移行するにあたり、端末購入費の一部を支援するとともに、低所得者世帯を対象とした支援を実施

【取組の現状】

端末購入に係る負担軽減を図るための補助制度を創設

新 DXで未来を創る！やまぐち探究レベルアップ事業 <高校教育課> (再掲)

再掲10頁

新 公立高校入学者選抜WEB出願システム導入事業 <高校教育課> 43,338 千円

【事業内容】

入学者選抜手続きのデジタル化を進め、Web上で出願手続きが完結する環境を整備することで、中学校・高等学校教職員の事務負担を軽減するとともに、生徒・保護者の利便性を向上

【取組の現状】

- 委託業者の決定（5月）・システムの構築（5月～）
- 中学校進路担当者説明会での周知・概要説明（7月～8月）
- 中学校、高等学校へのシステム操作説明会（10月予定）

拡 生成AIを活用した家庭と学校の学びの好循環創出事業 <義務教育課> (再掲)

再掲11頁

私立専修学校運営費補助事業 <学事文書課> 3,173 千円

【事業内容】

私立専修学校に対して運営費を支援するとともに、企業等との連携体制を構築し、実務の最新知識・技能等が身につけられる実践的な職業教育に取り組む職業実践専門課程に認定された私立専門学校に対して経費を支援

- 私立専修学校に対する運営費補助
- 職業実践専門課程認定校に対する経費補助

【取組の現状】

私立専修学校の運営費及び職業実践専門課程認定校の経費の一部に対する支援を実施

やまぐち未来アカデミア事業

（セミナーパーク指定管理事業）<政策企画課> (再掲)

再掲8頁

2050 ゼロカーボン・チャレンジ推進事業 <環境政策課> (再掲)

再掲12頁

県立学校施設整備事業（高校再編整備・教室不足対策）

<学校運営・施設整備室> 2,773,473 千円

【事業内容】

再編整備の対象となった新高校において、より質の高い高校教育を提供できるよう、必要な施設・設備の整備を実施

児童生徒の増加に伴い教室不足が生じている総合支援学校において、教室不足を解消し教育環境の改善が図られるよう、必要な施設・設備の整備を実施

【取組の現状】

- 「県立高校再編整備計画 前期実施計画」に基づく県立高校の再編整備に伴う必要な施設整備を推進
- 本年10月、豊浦総合支援学校が移転開校予定
- 防府総合支援学校の建替えに向けた基本計画の策定に着手

日本語教育支援体制整備事業 <義務教育課>

18,435 千円

【事業内容】

日本語指導が必要な児童生徒が、適切な指導・支援の下で将来への現実的な展望が持てるようにするため、遠隔・オンラインによる日本語指導等の充実を図るとともに、日本語指導者・支援員等による継続的な支援を行い、切れ目ない日本語教育を推進

【取組の現状】

- 各市町が配置する日本語指導補助者や支援員等を補助するきめ細かな支援事業
- NPO 法人による、集中的・長期的な遠隔・オンライン日本語授業

やまぐちの未来を創る！フロンランナー育成事業 <高校教育課>

12,943 千円

【事業内容】

地域医療の充実や地域課題の解決等に向け、高い志をもった高校生に最先端の研究の動向を踏まえたオンライン講座、ICTを活用して取り組むハイレベル課外授業等を実施し、高校生が学校の枠を越えて切磋琢磨する機会を創出

- 地域医療を担う人材の育成に向け、医師等による地域医療をテーマとした講義・演習の実施
- 本県の課題解決に取り組み、将来を担う人材の育成に向け、有識者による地域課題の解決や未来社会の創造をテーマとした講義・演習の実施
- 大学進学に必要な高いレベルの知識習得を図るハイレベル課外授業の実施

【取組の現状】

メディカル・フロンランナー育成コース47名、アドバンスト・フロンランナー育成コース35名の計82名（11校）の県立高校生が受講

○メディカル・フロンランナー育成コース

- ・地域医療探究セミナー

第1回 8月1日 山口大学医学部

第2回 11月9日 KDDI 維新ホール

第3回 12月25日 山口大学医学部

- ・先端研究体験プログラム

10月18日 YMfg 維新セミナーパーク

○アドバンスト・フロンランナー育成コース

- ・未来社会創造セミナー

第1回 7月31日 KDDI 維新ホール（参加者32名）

第2回 12月26日 KDDI 維新ホール

- ・オンライン プラス アウトリーチ

8月18日から8月20日 東京大学先端科学技術研究センター等

○両コース共通

- ・ドリカムゼミ

第1回 8月4日 KDDI 維新ホール

第2回 10月11日 北九州予備校山口校

第3回 11月15日 オンライン

第4回 12月6日 オンライン

DXハイスクール推進事業 <教育情報化推進室>

(再掲)

【事業内容】

高校段階におけるデジタル等の成長分野を支える人材育成の強化を図るため、情報、数学等の教育を重視するカリキュラムを実施するとともに、文理横断的・探究的な学びを強化する教育活動の充実などデジタル人材育成に向けた環境整備を推進

○専門人材の招へい等による教育活動の充実

○ICT機器等の整備

【取組の現状】

○生徒が探究的な学びを推進するためのDXに関する知識や技術に触れる全校イベント（招へいた専門人材による講演や講座）の開催

○生徒や教員が大学や企業を訪問し、データサイエンス等に係る講義を受講

○高性能パソコン等のICT機器の整備

山口県公立学校情報機器整備基金積立金 <教育情報化推進室>

935 千円

R6補正：1,506,219 千円

【事業内容】

義務教育段階における1人1台端末等の更新を計画的に進めるため、国の補助金を原資に造成した基金を効率的に運用

【取組の現状】

○義務教育段階における1人1台端末等の更新に要する国の補助金等の積み立て

次世代の教育環境デジタル化推進事業 <教育情報化推進室>

17,590 千円

【事業内容】

県立学校のフルクラウド環境の利点を生かし、クラウドサービスを校務に活用することで、教職員の働き方改革を一層推進するとともに、教育データを活用することで児童生徒一人ひとりに合った学びを支援

【取組の現状】

○教育データの活用に向けた教育ダッシュボードの運用

○クラウド型採点システムの利用により、定期考査等の採点時間の短縮による教員の働き方改革を推進

【事業内容】

デジタル人材の育成や教員のＩＣＴ活用指導力の向上などに取り組み、「やまぐちスマートスクール構想 2.0」を推進

- 教職員の日常的なＩＣＴの活用をサポートするＩＣＴ支援員の派遣
- 「やまぐちＧＩＧＡスクール運営支援センター」の設置
- やまぐちＩＣＴ活用コンテスト等の実施
- ＡＩイノベーター育成講座の開催
- １人１台端末の更新に係る市町支援

【取組の現状】

- 学校へのＩＣＴ支援員の定期訪問並びに端末故障対応窓口機能を備えた「やまぐちＧＩＧＡスクール運営支援センター」を県及び１１市町等で共同設置
- 次代の山口県を担うデジタル人材に必要な資質能力を育成するため、高校生を対象としたＡＩイノベーター育成講座を開催
- 県及び県内全市町教育委員会が参加する教育ＩＣＴ推進協議会において、１１市町の義務教育段階における端末の共同調達を実施

教育ＩＣＴ管理運営費 <教育情報化推進室>

(再掲)

【事業内容】

児童生徒にＩＣＴを活用した新たな学びの機会を提供するため、ＩＣＴ機器や学校及び家庭のネットワーク環境を整備

- タブレット端末の管理・修繕
- 高速で安定したインターネット環境を整備
- 各教科等の授業で効果的にＩＣＴを活用していくためデジタル教材を導入
- 通学が困難な児童生徒や障害のある児童生徒に対して学びの機会を保障するため、自宅・病室等の学習者用端末と教室等にいる分身ロボットをネットワークで接続し、遠隔授業を実施

【取組の現状】

ＩＣＴ機器の適切な管理やデジタル教材の充実、ＩＣＴを活用して、通学できない児童生徒に対する学習を保障

学びに向かうやまぐちっ子育成推進事業 <義務教育課>

7,279 千円

【事業内容】

全ての子どもたちの可能性を引き出すために、特定の学力課題の克服や学習習慣の確立などの課題解決を図るとともに、学習指導要領で求められる資質・能力を本県の子どもたちに確実に身に付けさせ、子どもたちの自己実現を支援

○学力PDCAサイクル事業

- ・山口県学力定着状況確認問題の作成及びＣＢＴによる実施
- ・学力分析支援ツールの提供と活用促進 等

○授業力向上事業

- ・キャリアステージに応じた研修会の実施
- ・授業力向上実践研究の推進（指定校：県内７校）

【取組の現状】

- ・実施日：１０月１０日～１０月１７日
- ・対象者及び教科：県内公立小学校５年 国語、算数 ６年 国語、算数
 県内公立中学校１年 国語、数学 ２年 国語、数学、英語

産業教育設備整備費　＜学校運営・施設整備室＞　101,373千円

【事業内容】

県内産業を支える人材を育成するため、専門高校等に地域産業の特徴や県内企業のニーズを踏まえた実験・実習設備を整備

【取組の現状】

○年度末までに装置の調達・整備を完了予定

CAD実習装置（防府商工）、燻製機（大津緑洋水産校舎）、万能製図台・椅子（萩商工）、スポット溶接機（美祢青嶺）、トータルステーション（岩国工業）、紫外可視分光光度計（南陽工業）、シーケンス制御及びびりレーシーケンス実習ユニット（下松工業）ほか

企業から学ぶ！専門高校カーボンニュートラルプロジェクト <高校教育課>
(再掲)

再掲 13頁

地域連携教育再加速化事業 <地域連携教育推進課> (再掲)

再掲8頁

地域教育力日本一推進事業 <地域連携教育推進課> (再掲)

再掲8頁

地域と連携したリアルな体験活動充実事業　＜地域連携教育推進課＞　（再掲）

再掲9頁

大学等地域活性化人材育成推進事業　＜学事文書課＞　28,990千円

【事業内容】

県内で活躍する新たな時代の人づくりを推進するため、県内大学等が企業等と連携して行う地域や時代のニーズに沿った人材の育成の取組を支援

○地域が求める人材の育成を推進するワーキンググループの設置やアドバイザーの配置

○データサイエンス教育の普及に向けた教材作成支援、新たな分野や手法による課題解決型学習
実施の環境整備等

○企業発見フェアや学生・企業の交流会等、高校生・大学生・企業等をつなげる取組や、アントレプレナーシップを備えた人材を創出する取組等への支援

【取組の現状】

○データサイエンス教育の普及を図るため、県内大学等が自由に使用することのできるデータサイエンスの共通教育教材を掲載したカタログサイトを運用

○自ら課題を発見し解決する能力を育成するため、県内大学等のPBL（課題解決型学習）の取組

を促進

- 学生に地域の魅力ある企業を紹介する「山口きらめき企業の魅力発見フェア（Job フェア）」（11月22日、維新百年記念公園維新大晃アリーナ）を開催予定
- 学生に県内企業を深く知ってもらうため「ガクセイ社会科見学」、「分野特化型企业交流会」を開催予定
- 県内大学・専門学校・高等専門学校等の「オープンキャンパスマップ」を中高生向けに発信

県立大学運営費交付金 <学事文書課>

1,366,848 千円

【事業内容】

公立大学法人山口県立大学が自主的・自律的に行う大学運営の財源に充てるため、県が法人に対して運営費交付金を交付（高大連携分を含む）

【取組の現状】

地域における共創の拠点として、「山口県立大学将来構想」に基づき、時代や社会の変化に対応した魅力ある大学づくりを推進するとともに、高大連携の充実・強化のため、附属高校の設置準備を推進

やまぐち高大パートナーシップ強化事業 <高校教育課>

3,224 千円

【事業内容】

高校と県内大学との連携を一層強めることにより、県内大学の学部・学科等の理解につなげ、主体的な進路選択による県内大学への進学意識の向上を図り、若者の県内定着を促進

【取組の現状】

○高大パートナーシップ授業

- ・県立学校と県内大学が連携し、県立高校が設定したテーマに基づく授業を定期的に行う取組
- ・8校を実施校として決定

○新たな学び創出コンペティション

- ・大学での学びに必要な課題発見・解決能力の育成に向け、県内大学等と連携した内容及び研究成果について発表・協議する大会を開催
- ・3月16日（月）に開催予定

生涯学習推進体制整備事業 <地域連携教育推進課>

（再掲）

再掲14頁

【課題及び今後の対応】

- 1人1台端末などのデジタル学習基盤の充実・強化と更なる活用促進により、個別最適な学びと協働的な学びの一体的な充実を図る必要がある。
- 「第3期県立高校将来構想」の方向性に沿った実施計画に基づく、文理探究科における探究的な学習活動の充実や中高一貫教育校の設置など特色ある学校づくりを推進し、より質の高い教育を提供する必要がある。
- 山口県立大学について、大学が担うべき人材育成・研究拠点機能のあり方等を取りまとめた「山口県立大学将来構想」に基づき、附属高校の設置などによる高大連携や地域・企業等との共創の場としての施設等の活用を推進する必要がある。
- 環境分野における次世代を担う人材育成のため、引き続き、交流会の開催や学習機会の提供など、環境教育・環境学習の充実を図る必要がある。
- 最新のデジタル化対応産業教育装置の使用に必要なプログラミング技術の習得や企業等と連携した実習を推進する必要がある。
- 私立学校における特色ある教育を推進するため、私立学校の教育条件の維持・向上や環境整備を支援する必要がある。
- 学校・学科の特色や専門性を生かした高校ならではのコミュニティ・スクールの取組を一層推進するため全県的なコーディネート体制を一層充実する必要がある。
- 小・中・高等学校等における「地域の創り手」の育成に資する学習機会の充実や、学校と社会教育団体や社会教育施設が連携した地域づくりの推進を図る必要がある。
- 県民が主体的に学習に取り組むことにより、社会の中で充実した生活を送ることができるよう、引き続き、生涯学習情報や学習機会の提供など、生涯学び続けることができる環境づくりを推進する必要がある。
- 県立博物館や山口図書館等における、デジタル技術を活用した展示物や電子図書館サービスの更なる充実により、文化資源の鑑賞機会や読書や学習等の機会の拡大を図る必要がある。

⑥教職員や保育者等の資質能力の向上や、新たな学びの視点を取り入れた教育プログラムの普及、人づくり推進ネットワークを核とした全県的な取組、子どもと教職員・保育者等のウェルビーイングの向上を図るプログラム等を推進

新 合格応援！保育士試験対策重点支援事業 <こども政策課> 8,000 千円

【事業内容】

保育士試験により保育士資格の取得をめざす者に対し、保育士試験対策に係る支援を実施することにより合格者の増加を図り、保育人材の確保及び保育の質の向上を推進

○試験受験のために要した学習費用への支援

○試験対策講座の実施

【取組の現状】

○保育士資格を取得し、保育所等に保育士として勤務することが決定した者に対し、保育士試験受験のための学習に要した費用の補助を実施（最大20万円）

○保育士試験を受験予定で、かつ、試験合格後に県内で保育士として勤務する意向のある者を対象とした試験対策講座を実施（受講料無料）

- ・実技試験対策 集中対策講座 令和7年5月31日（土）
模擬試験 令和7年6月7日（土）
- ・筆記試験対策 オンデマンド講座 令和7年5月1日（木）～令和8年3月23日（月）
集中対策講座 令和7年9月20日（土）、令和7年9月21日（日）
模擬試験 令和7年9月27日（土）、令和7年9月28日（日）

新 学校マネジメント力強化推進事業 <義務教育課>

5,880 千円

【事業内容】

子どもたちが新たな時代に社会で活躍するために必要な力を身に付けることを目指し、校長のマネジメント力の強化など、教師同士が学び合う環境を構築することで、組織的な教育活動の実践を推進

○新たな学びの推進

- ・市町立小・中学校の校長等管理職を対象とした学校マネジメントに関する研修の実施
- ・組織的な教育活動の校内実践による、多様な他者と協働した探究的な学びや、教科等横断的な学びといった、新たな学びの推進

○「やまぐち型伴走支援」の推進

- ・指導主事等を対象とした学校支援に関する研修の実施と手引書の作成により、学校の新たな学びの推進に向けた取組を支援

【取組の現状】

○中心校校長及び中堅教諭を対象とした研修会第1回、第2回を実施

○「やまぐち型伴走支援の手引き」を活用し、指導主事及び社会教育主事等による学校への伴走支援を継続

新 教育DX推進に向けた県立学校ネットワーク高速化事業

<教育情報化推進室>

（再掲）

再掲26頁

拡 幼稚園人材確保総合対策事業 <学事文書課>

76,939 千円

【事業内容】

幼稚園人材の安定的な確保と幼児教育の質の更なる向上のため、私立幼稚園が実施する処遇改善や一種免許状の取得促進を支援するとともに、県内外の保育士養成施設の学生を対象とした返還免除のある無利子貸付事業に、新たに県内の保育士養成施設への進学を希望する高校3年生を対象とした貸付内定制度を設け、幼稚園人材の新規開拓を実施

○私立幼稚園が実施する教員等の処遇改善に対する支援

○幼稚園に就職を希望する学生への貸付事業

- ・県外向け幼稚園人材修学資金貸付
- ・県内向け幼稚園人材修学資金貸付
- ・県内養成施設への進学を希望する高校3年生を対象とした貸付内定制度の創設

○一種免許状保有促進に係る支援

【取組の現状】

○私立幼稚園の教職員処遇改善にかかる支援

私立幼稚園が実施する教職員の処遇改善に対して支援を実施

○幼稚園人材修学資金貸付

県内外の養成施設に在籍する学生を対象に、県内の幼稚園に就職を希望する学生に対して修学資金の貸付を実施

○一種免許状保有促進にかかる支援

私立幼稚園等における一種免許状を取得している教員の配置について支援を実施

拡 保育の担い手全力サポート事業 <こども政策課>**153,379 千円****【事業内容】**

県内外の保育士養成施設の学生を対象とした返還免除のある無利子貸付事業に、新たに就職準備金のための貸付制度や、県内の保育士養成施設への進学を希望する高校3年生を対象とした貸付内定制度を設け、保育の担い手の新規開拓を実施

○県内向け保育士修学資金貸付

○県外向け保育士修学資金貸付

○就職準備金のための貸付制度の創設

○県内養成施設への進学を希望する高校3年生を対象とした貸付内定制度の導入

【取組の現状】

県内外の養成施設に在籍する学生を対象に、県内の保育所等に就職を希望する学生に対して修学資金の貸付を実施

拡 こどもまんなか保育体制強化事業 <こども政策課>**(再掲)**

再掲1頁

私学教職員研修補助金 <学事文書課>**(再掲)****【事業内容】**

私立幼稚園、私立中学・高校及び私立専修学校・各種学校の教職員の資質向上を図るため、山口県私立中学高等学校協会、公益財団法人山口県私立幼稚園協会及び一般社団法人山口県専修学校各種学校協会が実施する教職員研修事業への助成を実施

【取組の現状】

19回の研修を実施予定

(令和6年度実績：上記3団体において15回の研修を実施、984名が受講)

保育士確保総合対策事業 <こども政策課>**18,788 千円****【事業内容】**

市町の「こども計画、子ども・子育て支援事業計画」の実施に必要な保育士を確保し、保育の質・量の拡充による保育サービスの充実を図るため、「人材確保(新卒・再就職)」の取組を総合的に推進

○新規卒業者確保

・保育士養成施設に対する就業促進支援

- ・保育職PRキャラバン隊派遣
- ・メルマガを活用した採用情報発信
- ・保育士就職ガイダンスの開催

○再就職支援

- ・再就職支援コーディネーター配置
- ・保育士試験合格者等に対する実技講習
- ・返還免除規定のある貸付（潜在保育士就職準備金・保育料）

○待遇改善

- ・認定こども園保育士資格取得支援
- ・返還免除規定のある貸付（子どもの預かり支援）

【取組の現状】

○「保育職PRキャラバン隊出前講座」

保育士をめざす高校生の増加を図るため、高校生を対象とした保育の仕事の魅力を紹介する出前講座を開催（実施希望校募集中）

○「2025年 福祉のしごと・保育のしごと 就職フェア」

- ・7月12日（土） 山口県総合保健会館で開催（約60事業所が参加）
- ・8月9日（土） 周南市文化会館で開催

○「再就職支援コーディネーター配置」

潜在保育士の再就職を支援する再就職支援コーディネーターを福祉人材センターに配置し、ハローワークや市町と連携した出張相談会を開催（計35回予定）

保育人材スキルアップ支援事業 <こども政策課>

（再掲）

再掲4頁

乳幼児の育ちと学び支援事業 <義務教育課>

（再掲）

再掲4頁

幼児教育の質の向上推進事業 <義務教育課>

（再掲）

再掲5頁

やまぐちスマートスクール構想推進事業 <教育情報化推進室>

（再掲）

【事業内容】

デジタル人材の育成や教員のICT活用指導力の向上などに取り組み、「やまぐちスマートスクール構想2.0」を推進

- 教職員の日常的なICTの活用をサポートするICT支援員の派遣
- 「やまぐちGIGAスクール運営支援センター」の設置

【取組の現状】

- 県立学校に週1回程度ICT支援員を派遣し、学校のICT化全般を支援
- 「やまぐちGIGAスクール運営支援センター」を設置し、端末の故障等への対応を実施

【事業内容】

教員志願者の著しい減少による教員不足の問題を解消していくため、教員採用試験の志願者増加等を図り、本県の人づくりを支える教員の確保を推進

- 魅力PR動画「先生になるなら“やまぐち”で！」の配信
- 教職に就いていない教員免許保有者等に向けた教職入門セミナーの実施
- 教員免許未取得者を対象とした特別選考の実施及び免許取得に係る経費の支援

【取組の現状】

- 山口県における教師の魅力発信に向けたPR動画を配信
教員をめざす上での基本的知識や仕事内容、仕事の魅力・やりがい等を紹介する9本のPR動画を配信
- 先生になるなら“やまぐち”で！セミナーの開催
これから教員をめざす方、教員免許状を所有しているものの教職未経験の方等を対象とした、臨時的任用教員や非常勤講師としての入職に向けた多様なセミナーを年間13回開催
- 教職チャレンジサポート特別選考の実施
教員採用試験において、教員免許未取得者が受験できる特別選考を実施し、合格者には、教員免許取得のための費用を補助（採用見込者数：4名 R6年度から補助開始）

教職員等研修事業 <教職員課>

28,647 千円

【事業内容】

教職員のキャリアステージに応じた基本研修に加え、職能や課題に応じて資質能力の向上を図るマネジメント研修やキャリアアップ研修等を実施

- 「受講者が主体的に参加する探究型の研修」、「ICTを効果的に活用した研修」、「ユニバーサルデザインの視点を取り入れた研修」の3つを柱としたやまぐち総合教育支援センターの研修講座の工夫・改善
- 独立行政法人教職員支援機構（NITS）山口大学センターと連携した「地域連携教育」、「ICT活用」、「生徒指導」、「学校危機管理」、「スクールリーダーシップ」、「組織マネジメント」等の資質能力の向上に係る研修の実施

【取組の現状】

- やまぐち総合教育支援センターの研修講座において、「振り返りの充実」や「他者との対話の充実」を図ることにより受講者の主体的な参加を促進するとともに、ICTの効果的な活用やユニバーサルデザインの視点を取り入れた講座運営を実施
- 管理職研修等において、独立行政法人教職員支援機構（NITS）山口大学センターと連携した研修を実施

新たな時代の人づくりウェルビーイング向上事業 <政策企画課>

（再掲）

再掲11頁

新たな学びの場創出事業 <政策企画課>

（再掲）

【事業内容】

- 多様な主体による人づくり協働推進事業

- ・多様な主体が連携・協働して行う新たな学びの場の創出に関する取組への支援
- ・人づくり推進ネットワークによる人的支援

【取組の現状】

- 「新たな時代の人づくり協働推進事業補助金」対象事業の募集・決定
- 民間団体等が行う取組に対する支援 補助金10/10 上限50万円
- 人づくり推進ネットワーク会員への取組周知
- 補助対象事業10件（17件申請）

人づくりの推進体制の構築 <政策企画課>

135 千円

【事業内容】

県内の様々な関係者がめざすべき人づくりの方向性や課題認識を共有し、人づくり推進方針に沿った取組を一体となって推進

- 新たな時代の人づくり推進ネットワークの運用
- 山口県新たな時代の人づくりアドバイザーの活用

【取組の現状】

- 新たな時代の人づくり推進ネットワーク会員数（R7.7月時点127団体）
- 新たな時代の人づくりの推進に当たり、様々な分野における専門的な見識や最新の知見、豊富な経験に基づく助言・協力を得るなど、アドバイザーの活用を予定

【課題及び今後の対応】

- 教員の継続的な確保や教職員一人ひとりの資質能力の向上と多様な専門性を有する質の高い教職員集団の形成のため、教員志望者拡大に向けた取組やキャリアステージ等に応じた計画的・継続的な研修の実施が必要である。
- ウェルビーイングの観点に着目した人づくりを県下の様々な学びの現場に広げ、定着させていくため、教職員や保育者等の意識の醸成と取組の支援を行っていく必要がある。
- 各私立学校における教職員の資質能力向上に向けた取組に対し、私学団体と連携し支援を行っていく必要がある。
- 今後、更に必要となる保育人材の確保・定着の取組を推進するとともに、研修等による資質向上を図る必要がある。
- 子どもから若者までの発達の段階に応じて、幅広く人づくりの取組が展開できるよう、学校や企業、民間団体等と連携・協働して多様な学びの場を創出する必要がある。
- やまぐち総合教育支援センターにおいて、研修デザインに関する学びの場や研修実施者同士の情報交換の場を設定し、好事例の共有を図るとともに研修実施上の課題を洗い出し、研修講座の更なる充実を図る必要がある。
- 独立行政法人教職員支援機構（NITS）山口大学センター等と連携しながら、研修講座の一層の充実により、キャリアステージに応じた教職員の資質能力向上を図る必要がある。

(2) 若者の県内定着の促進

- ①若者の県内就職促進に向け、「大学リーグやまぐち」等と連携しながら、県内企業の魅力情報発信や、大学生・企業のニーズに沿った就業体験を実施するとともに、高校生等を対象とした就職支援を推進

新 やまぐち若者サードプレイス創出事業 <中山間・地域振興課> (再掲)

再掲6頁

新 若者と県内企業のつながり創出事業 <労働政策課> (再掲)

再掲6頁

新 デジタルマーケティング活用若者就職・定着情報発信事業 <労働政策課>

27,230 千円

【事業内容】

若者の県内就職・定着に向けて、デジタルマーケティングを活用して広報のターゲットを最適化し、県内就職・定着を目的としたコンテンツやイベント情報等を、SNS広告やショート動画等により、効果的に発信

【取組の現状】

○移住支援金広報ページ制作

- ・隣県（広島、福岡）への周知強化のため、移住支援金専用広報ページを製作（広島版は8月、福岡版は9月に配信開始）

○インターンシップへの参加促進に向けた支援

- ・山口県インターンシップ推進協議会の参加者募集開始に合わせ、バナー広告を作成・配信
- ・インターンシップ参加者のインタビュー記事作成・掲載

○新卒・第二新卒就活応援補助金の周知

- ・交通費、宿泊費、引越し費用を補助する4つの補助金制度を一体的に宣伝するページ制作（8月に配信開始）

○やまぐち企業合同就職フェア等イベント一覧ページの制作

- ・県内の就活イベントが一目で分かる詳細ページを製作（8月配信開始）

○UJI ターン就職説明会の参加者増加支援

- ・専用の宣伝ページ制作
- ・過去のフェア参加者のインタビュー記事作成・掲載

新 大学と企業をつなぐデジタル人材確保応援事業 <労働政策課>

2,500 千円

【事業内容】

県内大学で新設の相次ぐ情報系学部・学科と県内企業との相互理解を促し、情報系学生の県内就職・定着を促進

【取組の現状】

○大学と企業の交流イベントの実施（県内5大学で9月以降予定）

○デジタル系職種に特化した学生向け企業紹介イベントの実施（県内1大学で10月予定）

再掲31頁

再掲23頁

若者との共創による県内企業魅力向上事業 <労働政策課>

84,700 千円

【事業内容】

魅力向上セミナーの実施や、企業における奨学金返還支援制度の創設促進により県内企業の魅力向上を支援するとともに、若者との共創により若者視点を取り入れた企業紹介イベントや、保護者向けイベントを実施し、県内企業が若者から選ばれる企業となり、持続的に人材を確保していけるよう支援

【取組の現状】

- 企業向け魅力向上セミナー及び若手社員向けワークショップの実施（同日開催）
 - ・6月27日、7月14日、7月16日の3回実施
- 学生と企業の交流会の実施
 - ・8月から12月にかけて小規模交流会を3回実施予定
 - ・2月13日に大規模交流会を実施予定
- 保護者向け就活セミナー（11月8日実施予定）
- 奨学金返還支援制度創設奨励金の支給

若者県内定着促進事業 <労働政策課>

37,353 千円

【事業内容】

就業体験の推進、若者と企業の出会いの場の創出や企業の魅力情報等の効果的な発信により、若者の県内企業への就職・定着を促進

【取組の現状】

- 若者と企業の新たな出会いの場の創出
 - ・企業から求職者へアプローチするスカウト型就職面談会の開催
（山口：7月22日、下関：9月26日予定、下松：10月2日予定）
 - ・面接練習を兼ねた学生と企業の交流会の開催（3月9日開催予定）
 - ・高校生の就職フェアへの参加促進
- 就業体験の推進
 - ・受入先企業の新規開拓や学生と県内企業とのマッチングを行うコーディネーターを配置
 - ・就業体験参加への支援（交通費及び宿泊費を最大12万円助成）
- 県内就職情報の効果的な発信
 - 利用者のニーズに応じた就職情報等を閲覧・利用できるスマートフォン向けアプリ「ぶちエエやまぐち！就職アプリ」の運用及び普及を実施
- 県内企業の魅力情報発信
 - ・VR企業見学サイト「MIRANAVI（ミラナビ）」による情報発信

【事業内容】

移住就業支援金等の支給や県外就職説明会の開催により県外に在住している学生から一般求職者までの各層に対する県内就職を総合的に支援

【取組の現状】

- 企業との出会いの場の創出・就職支援
 - ・県外就職説明会を開催（東京：1月10日予定、大阪：1月17日予定）
- 移住支援金支給による県内への移住・就業の促進
 - ・県内外において移住支援金制度の周知及び東京・大阪でセミナーを開催

高度産業人材確保事業 <産業人材課>

【事業内容】

県内産業の振興に必要な高度専門知識を有する産業人材の確保を図るため、奨学金返還補助制度を実施するとともに、併せて県内就職をサポート

- 理系大学院生又は薬学部生の県内就職サポート（就職ガイダンス・企業見学会等）
- 就業実績に応じた奨学金返還のための補助金交付

【取組の現状】

- 県内製造業や情報サービス業への就職を希望する理系大学院生及び薬学部生を対象とした奨学金返還補助制度の新規対象者募集（定員25名）
- 対象学生への県内企業見学会等を実施予定

明日のやまぐちを創る！高校生就職支援事業

<高校教育課・特別支援教育推進室>

【事業内容】

「ガイダンスの充実」と「マッチングの促進」に重点を置き、入学後の早い段階から生徒に寄り添った伴走型の就職支援を行うことで、高校生の主体的な県内就職・県内定住を促進

- 県内産業や山口県の魅力の理解促進、県内就職・県内定住に向けた意識の醸成
- 生徒の適切な職業選択と県内中小企業とのマッチングを促進
- 就職支援を担う人材等の配置
- 教員等と企業の採用担当者との情報交換
- DXを推進している企業や各産業分野で主導的な地位にある企業と連携した企業見学・実習を推進

【取組の現状】

- 各種セミナーの実施（7月末時点）
 - ・ものづくり産業魅力発見セミナー（3校）
 - ・やまぐち魅力発見セミナー（4校1分校、6講座）
 - ・やまぐち仕事探究セミナー（27校、延べ36回）
- 高校と地元企業による交流フェア（9月以降実施）
 - ・交流フェアの企画・渉外等を担当する産学連携コーディネーターの配置（2名）
 - ・キャリアデザインから個別の就職相談・マッチングまでを総合的に支援
キャリアデザインサポーター（19名）、キャリアデザインサポートリーダー（3名）

- ・総合支援学校に在籍する生徒の現場実習先の開拓、就職支援
総合支援学校就職支援コーディネーター（4名）
- 教員等と企業の採用担当者との情報交換会
 - ・県内 10 会場：参加企業 487 社
- 企業見学・企業で働いている方との意見交換、実習等
 - ・実施校 9 校 1 分校（6 月以降、各校の指導計画に沿って実施）

【課題及び今後の対応】

- 将来の地域産業を担う人材を育成するため、地域や地元企業と連携した実践的な教育・就業体験等を一層充実させ、実践力、課題を探究する力、コミュニケーション能力等の育成を図るとともに、地域産業や山口県で暮らし働くことの魅力について理解を深める取組が必要である。
- 県内就職比率の向上や高度専門知識を有する産業人材の確保に向けて、地域産業や県内企業の魅力に対する理解を深める取組等、ガイダンスや支援制度の充実とマッチングの促進が一層必要である。
- 若者が県内で活躍するためのキャリア教育を大学等において推進することにより、県内企業の認知度を向上させる必要がある。
- 本県の将来を担う意欲ある若者の育成に向け、奨学金返還補助制度の周知をリーフレットやポスターの作成・配布に加え、ホームページや 1 人 1 台端末等を活用した情報発信などを通じて更に進めていく必要がある。

②若者の職場定着に向けた研修やセミナー・キャリアカウンセリングを推進

山口しごとセンター管理運営事業 <労働政策課>

184,366 千円の一部

【事業内容】

山口しごとセンターを中心として、関係機関と連携しながらキャリアカウンセリングやセミナーを核とした、個別相談から情報提供、職業紹介に至るきめ細かなサービスをワンストップで提供することにより、県内就職の支援に加え、県内企業の産業人材の確保を促進

【取組の現状】

- キャリアカウンセリング等を実施（就職後の相談もカウンセラーが個別に対応）
- 就職支援セミナーを実施

【課題及び今後の対応】

- 若者の県内定着を促進するため、引き続き、若者に対するきめ細やかなキャリアカウンセリングやセミナー等を実施していく必要がある。

③高校生の主体的な選択による県内大学等への進学を支援するため、高大連携による相互交流など県と大学等との連携強化を推進

大学等地域活性化人材育成推進事業 <学事文書課>

(再掲)

再掲31頁

やまぐち高大パートナーシップ強化事業 <高校教育課>

(再掲)

再掲32頁

【課題及び今後の対応】

- 県内大学の学部・学科等の具体的・実践的な理解を県内のより多くの県立高校等へ広げるため、県内大学等とオンラインで繋がる取組を促進していく必要がある。
- 「大学リーグやまぐち」等を通じ、県内大学等が特色や強みを活かした魅力の向上に連携して取り組むとともに、高校生が県内大学等の魅力や良さに理解を深めるための取組を推進する必要がある。

(3) 教育環境の整備・充実

①児童生徒が安心して学習等に取り組むことができるよう、いじめ・不登校の未然防止や早期発見・早期対応、相談・支援体制の強化、不登校児童生徒の学ぶ機会及び子どもたちの居場所の確保・充実に向けた取組を推進

新 誰一人取り残されないいじめ不登校対策事業 <学校安全・体育課> (再掲)
再掲18頁

新 生徒指導推進事業（スクールロイヤーによる支援体制の強化）
<学校安全・体育課> (再掲)
再掲19頁

拡 不登校対策のためのステップアップルームの取組強化 <学校安全・体育課>
(再掲)
再掲19頁

中学校及び高校0年生からの教育相談事業 <学校安全・体育課> (再掲)
再掲25頁

【課題及び今後の対応】

○依然として深刻ないじめ・不登校等生徒指導上の諸課題については、その未然防止・早期対応に向けた教職員の資質向上の取組や、不登校児童生徒の学ぶ機会及び子どもたちの居場所の確保・充実に向けた取組の推進を図る必要がある。

②子どもたちの豊かな学びを支える教育環境の充実を図るとともに、持続可能な指導・運営体制を構築するため、教職員や保育者等の継続的な確保に向けた取組や学校における働き方改革、部活動の地域移行等を推進

新 県立高校等1人1台端末購入費支援 <教育情報化推進室> (再掲)
再掲26頁

新 公立高校入学者選抜WEB出願システム導入事業 <高校教育課> (再掲)
再掲27頁

拡 教員業務支援員の配置 <教職員課> 141,835千円

【事業内容】

教員の長時間勤務を是正し、学校の指導・運営体制の更なる充実を図るため、教員の事務的業務を補助する教員業務支援員を配置する市町を支援するとともに、県立学校に配置

【取組の現状】

教員業務支援員を19市町164校（小学校99校、中学校65校）、県立学校12校に配置

次世代の教育環境デジタル化推進事業 <教育情報化推進室>

（再掲）

再掲29頁

統合型校務支援システム管理運営費・学校管理指導費

<教育情報化推進室・教職員課> 66,131 千円

【事業内容】

出欠管理や成績処理等の校務の効率化を進めるため、「統合型校務支援システム」を全ての県立学校で運用

【取組の現状】

- 統合型校務支援システムの全県立学校での運用
- 統合型校務支援システムの全市町立小・中学校での共同利用を支援
- 全県立学校にＩＣカード等、留守番電話、緊急用携帯電話を整備し、運用中

人づくりを支える教師確保推進事業 <教職員課>

（再掲）

再掲37頁

やまぐち部活動改革推進事業

<スポーツ推進課、文化振興課、義務教育課、学校安全・体育課>

134,546 千円

【事業内容】

少子化の中でも将来にわたり、子どもたちがスポーツ・文化芸術活動に継続して親しむことができるよう、公立中学校における休日の部活動の地域移行に向けた部活動改革を推進

- やまぐち部活動改革推進協議会の開催
- 希望する市町における国の実証事業の実施
- 指導者等の情報を登録・提供する人材バンクの運営・管理
- 地域スポーツ、地域文化芸術指導者研修会の開催
- 教員等に代わり部活動の指導などを行う部活動指導員の配置

【取組の現状】

- 国のガイドラインを踏まえた県方針を令和5年10月に策定。令和6年度は「やまぐち部活動改革推進協議会」において、実証事業の事例紹介や取組の方向性に関する意見聴取を実施
- 市町においては、体制整備に向けた協議会等の開催や地域の実情を把握するため、生徒、保護者、学校関係者、スポーツ・文化芸術団体へアンケート調査等の取組を実施
- 地域のスポーツ・文化芸術活動の体制の整備に向け、国事業を活用し、県内10市において、関係者との連絡調整・指導助言等の体制や運営団体・実施主体の整備等に関する実証事業を実施
- 指導者や受け皿団体、スポーツ・文化施設など県内のスポーツ・文化情報を一元化して提供できる広域人材バンク及びポータルサイト（やまぐち部活動改革応援バンク～スポーツ・文化つながりNAVI～）の運営・管理
- 地域の指導者、またそれを希望する関係者に対し、部活動の地域移行に係る指導の在り方、活

動の運営等に関する研修会の実施に向けて、会場及び講師について調整

○部活動の指導体制の充実を図るため、教員等に代わり部活動の指導などを行う部活動指導員を
14市町46校92名（市町立中学校）、2校2名（県立中等教育学校及び県立中学校）配置

【課題及び今後の対応】

- 将来の地域産業を支える人材の育成に向けて、実習設備の整備・更新など、専門高校等の教育環境の充実が必要である。
- 部活動の地域移行等が進んでいない市町については、実証事業を活用し、地域クラブ活動のモデル構築や学校と地域クラブとの連携促進等の支援を行う必要がある。
- 部活動の地域移行に必要な指導者の更なる確保に向け、指導者資格の取得促進を図る等、地域が求める人材の確保対策の強化を図る必要がある。
- 教員のこれまでの働き方を見直し、子どもたちに対してより質の高い教育を行うことができるよう、管理職のリーダーシップのもと、学校における働き方改革を推進する必要がある。
- 統合型校務支援システムによる校種間でのデータ連携の推進等により、一層の校務の効率化を図る必要がある。
- 教員の業務量を、時間外在校等時間の上限時間である、月45時間、年360時間の範囲内となるよう、適切に管理するとともに、令和6年4月に策定した「山口県学校における働き方改革加速化プラン【第3期】」に沿った取組を進めていく必要がある。

③再編整備を踏まえた施設の長寿命化・防災機能の強化による安心・安全な学校づくりを推進

私立学校耐震化促進事業 <学事文書課>

666 千円

【事業内容】

子どもの命を守り、地域の避難所としても機能する私立学校の施設について、学校法人の実施する耐震化対策を促進し、防災対策を強化

【取組の現状】

私立学校施設の耐震化を促進するために、耐震補強・改築工事等への支援を実施
（学校の耐震化率 私立中学・高等学校：94.2%、私立幼稚園：93.8%）

県立学校施設整備事業（長寿命化、防災機能強化） <学校運営・施設整備室>

1,192,942 千円

【事業内容】

施設の長寿命化をはじめ、非構造部材の耐震対策やバリアフリー化、空調設備の設置等、安心・安全な教育環境の確保に向けた施設整備を実施

【取組の現状】

- 県立学校施設について「長寿命化計画」に基づく改修等を実施
- 県立学校施設の外壁改修等の非構造部材の耐震対策を実施
- 県立高校の家庭科室、化学室、音楽室等の特別教室の空調設備設置を推進

○市町立学校の耐震化の完了に向け、引き続き積極的な働きかけを実施

(公立学校の耐震化率 県立学校：100%、市町立小中学校：99.2%、市町立幼稚園：100%)

県立学校施設等の照明 LED 化関連事業 <学校運営・施設整備室など>

3,525,234 千円

【事業内容】

脱炭素社会の実現と教育環境の更なる向上に向け、県立学校や社会教育施設等の照明 LED 化を実施

【取組の現状】

○全ての県立学校、県立社会教育施設等を対象に照明の LED 化に着手

県立学校施設等トイレ洋式化 <管財課>

372,000 千円

※教育庁分のみ計上

【事業内容】

ライフスタイルの変化への対応や良質な教育環境を確保するため、県立学校や社会教育施設等のトイレの洋式化を実施

【取組の現状】

○全ての県立学校、県立社会教育施設等を対象に、トイレの洋式化に着手

学校安全総合推進事業 <学校安全・体育課>

4,824 千円

【事業内容】

「防犯を含む生活安全」「交通安全」「災害安全（防災）」の3領域において、学校・家庭・地域・関係機関が一体となった学校安全の取組等を実施

【取組の現状】

大学等の専門家や、県市町の防災部局と連携した学校防災に係る研修会を実施するとともに、日時等を事前に告げないなど、不測の事態を想定したより実践的な避難訓練の実施に向けた普及啓発を実施

【課題及び今後の対応】

- 安心・安全な学校づくりに向けて、引き続き、学校等施設の耐震化を推進する必要がある。
- 県立学校施設について、長寿命化計画に基づく予防保全的な維持管理の取組が必要である。
- 教育環境の質の向上に向けて、空調設備の更なる設置など、必要な施設整備を推進する必要がある。